

令和8年度 第1回大阪府外国人医療対策会議 議事概要

日時: 令和8年8月 18 日(火)14 時 00 分～15 時 00 分

場所: 大阪府庁本館 5階議会特別会議室(大)

《議題1 外国人患者受入れ拠点・地域拠点医療機関連絡調整会議の議事内容について》

○資料 1-1、1-2 に基づき、保健医療企画課より説明。

(未収金対策について)【資料 1-1】

○未収金対策については、事前説明が重要であるが、その辺りの研修などサポートもしていただきたい。

(やさしい日本語の研修について)【資料 1-1】

○複数の班で、やさしい日本語の使用について意見があったが、やさしい日本語を使えば、医療従事者側もわかりやすく、有効であると思う。研修資料など共有できるものがあれば共有して欲しい。

⇒国が公表しているものなどがあるため、後程共有させていただく。

《議題2 令和8年度の外国人医療体制整備事業の実施状況及び令和9年度に向けた方向性(案)について》

○資料 2-1、2-2 に基づき、保健医療企画課より説明。

(Beyond EXP0 の研修事業について)【資料 2-1 P9】

○本研修事業の対象に熊取町が含まれないのはなぜか。

⇒戦略調整局で行っている空港事業の対象地域に熊取町が含まれていないため記載していなかった。

本研修は熊取町内の医療機関にも参加いただけるよう、医師会及び医療機関あてに周知させていただく。

○今年の実施はまだだと思うが、次年度以降も事業は継続実施されるのか。

⇒Beyond EXP0 は2030年に向けた事業であるため、継続する。

今年度を含む最初の3年間は関空エリアを中心に実施し、残りの2年間は府内の外国人材が活躍しているエリアを対象を拡充して実施する予定。

(多言語遠隔医療通訳事業について)【資料 2-1 P5】

○タガログ語などニーズのある言語をもっと追加して欲しい。

⇒タガログ語は需要の高い言語であると認識はしている。

事業継続の観点から予算との兼ね合いにはなるが、必要言語については適宜見直し、引き続き検討してまいる。

(ワンストップ相談窓口事業について)【資料 2-1 P6】

○多言語遠隔医療通訳の利用件数の増加に対し、ワンストップ相談窓口の利用件数は減少している。これは周知が行き届いていないのか、使い勝手が悪いのか、何かアンケート等で状況を把握できているのか。

⇒ニーズはあると認識している。機会を見て周知を進めているところではあるが、引き続き周知の方法を検討するとともに、アンケート調査についても検討してまいる。

○薬局についても、対象に入っているが、過去の利用状況について把握していれば教えて欲しい。

もし事例を紹介することができれば、周知に役立つのでは。

⇒件数は少ないが、利用履歴はあったと認識している。後日回答する。

(在留外国人の予防医療について)

○在留外国人の健康相談ができるような窓口などが行政で設置されているのであれば情報が欲しい。

また、子どもの予防接種についても、接種歴の把握が難しく困っている。

保健医療企画課単独では対応が難しいと思うが、今回の会議をきっかけに関係課と共有し、検討してもらえたら。

⇒現時点では状況を把握できていない。

今回のことをきっかけに、健康医療部内になるのか、他部局にも話が及ぶのか含めて、検討させていただきたい。
(受入れ医療機関体制整備補助金について)【資料 2-1 P10】

○医療機関の受入れ状況によって未収金の発生については大きな差がある。

未収金の保険保証サービスについて補助金を設立してくれたのは大変ありがたいと思っているが、一律に 1/2 補助とするのではなく、全額補助とすべきなのでは。

⇒補助金開始当初からそういったご意見をいただいていることは認識している。

今回このように意見をいただいたことについては、財政部局にも伝えながら検討してまいる。

以 上